

茨城こども新聞

発行所 茨城新聞社

水戸市笠原町 978-25 茨城県開発公社ビル 電話 029-239-3004 FAX029-301-0361

茨城新聞



SDGについて理解(りかい)を深める動画を
UNUUNU相談するメンバー＝土浦市中村西根



みらいの
学校 × SDGs
タネ

常総学院中学(土浦市)

学びを校内に広める

動画やポスター作成

常総学院中学校(土浦市中村西根)には、課外活動の一つとしてSDGsプロジェクトがあります。メンバーは1～3年生の8人。残飯や落ち葉から腐葉土を作ってブロッコリーを栽培したり、環境活動に取り組む企業を見学したりする活動を4月から続けてきました。3学期を迎え、これまでの学びから自分たちにできることを考えた結果、SDGsをもっと校内に広めたいと、生徒向けの動画作成や校内へのポスター掲示に乗り出しました。

1月上旬にはメンバーが、パソコンを扱う他のプロジェクトにどんな動画を作れるか相談。映像を合成するために使うグリーンバックを前に、使い方などを教えてもらいました。プロジェクトを超えて協力したり、さらには完成した動画を校内で共有した



校内の階段にSDGsの目標が書かれた掲示物(けいじぶつ)を貼るメンバーたち

りしながら、少しずつSDGsの取り組みの輪を広げていきます。

4面に続く

身近なことから行動を

みらいのタネ

1面の続き



SDGsプロジェクトで栽培しているブロッコリー

SDGsプロジェクトは、SDGsに関心が高い生徒が集まり、週2回、授業後に活動を続けてきました。これまでに県内の2カ所の企業を見学。食品の廃棄物を堆肥として再利用している取り組みを学び、自分たちも給食の残りや落ち葉などから堆肥を作りました。校内の一角ではプランターでブロッコリーを栽培しています。

3学期は、SDGsの理解を広げるための活動をしたと考えています。動画作成以外にも、各目標のロゴが入ったポスターを、目に入りやすい校内の階段に貼りました。プロジェクトリーダーの3年、坂本充基さんは「身近なことがSDGsにつながると学んだ。自分自身で行動しながら、周囲にも伝えていきたい」と話しました。

わたしにできること



常総(じょうそう)学院中3年
田端菜々子(たばた・ななこ)



常総学院中3年 村
野杏(むらの・あん)